

統計

◎西班牙の鐵鑛產出量及其の製品輸出入

一九一三年に於ける西班牙の鐵鑛產出量は九百八十六萬千六百六十八佛噸なりしに、一九一七年は甚しく減退して總額僅に五百五十五萬千七十一噸に過ぎざるのみならず、減量たる四百三十一萬六百噸弱は恰も一九一九年の產出量に相當せり。今西班牙及同國製鐵工業地の首腦と目さるるビスケー地方の鐵鑛產額を比較するに、次の如し。

年次	西班牙產出量 佛噸	ビスケー產出量 佛噸
一九一二年	九、一三九、〇〇七	三、八六四、五九五
一九一三年	九、八六一、六六八	二、六一八、一四九
一九一四年	六、八一九、九六四	二、六七四、六三八
一九一五年	五、六一七、八三九	二、八八五、九七四
一九一六年	五、八五六、六八一	二、四六四、六九四
一九一七年	五、五五一、〇七一	二、五八五、七九三
一九一八年	四、六九二、六五一	

一九一二年乃至一九一八年に涉り西班牙鐵鑛產額の平均八八・九％は毎年他國に輸出せられ、就中一九一二年及一七年は其の最高點に達して輸出量は產出額の九二・六％に當り、一九一五年の如き極めて減退せるに拘らず尙八〇・二％を輸出せり。亦ビスケー地方產出の鐵鑛も殆ど其の全量を英、獨、佛並ネザールランドの諸國に輸出するものにして、

獨り米國は一九一二年より一七年に到る約六年間平均年額約八萬六千七百三十四噸を輸入し、一七年の如き十一萬六千七百九十三噸に増加せり。

然るに他方に在りては、英國より年額約三百六十一萬六千噸、ネザールランドより約二百萬噸を輸入せりと雖、一九一七年獨逸の封鎖を實行するありて供給噸に杜絶し、遂に同國より約八十萬噸を購求せしに、其の後亦中絶の止むなきに出でたり。而も一九一九年一月より八月に涉り西國の輸入を仰ぎたる鐵鋼量は、北米合衆國四萬二千七百三十噸、佛國八萬七千三百三十二噸、英國二百五十八萬五百二十四噸の大量にして、ネザールランドは僅に百三十五噸に過ぎざりき。

又西國の銑鐵輸出は開戰期間稍々活氣を呈したりしが、一九一七年四月二十四日法律に依り鐵鋼製品の輸出を禁じたる爲、一九一二年以降一八年迄に於ける輸出量は次表の示す如くにして、専ら英、佛、伊の三國に輸送し、獨逸の如き一九一二年乃至一四年の三年間に六千八百五十噸を輸出せられ、昨年即ち一九一九年の初八箇月間には三百六十七噸の微量を受けしのみ。

年次	銑鐵輸出量 噸	英、佛、伊及獨逸の四國に輸出せし銑鐵量 噸
一九一二年	二九、四八三	五〇、七六〇
一九一三年	七、〇一九	三三、一九七
一九一四年	二八、七三五	二八
一九一五年	七五、六四八	

銑鐵輸出狀況と相對し、西國に於ける鐵及鋼製品若くは

半製品の外國輸入量は開戰期間著しく減少し、從來主たる供給國たりし獨逸及白耳義は港灣封鎖の爲全然其の姿を市場に絶ち、就中佛國の如きは動員に因り製鋼業依然として振はず、英國又船腹の不足を告げ意の如くならざりしかば、唯僅に少量の輸入を北米合衆國に仰ぎ一時の急を凌ぎたること以下示す所に明かなり。斯の如く戰禍の爲慘澹たる打撃を蒙り、其の反動として大に鋼鐵製造業の進歩發達を促したる結果、左の如き未曾有の產出額を得たり。而も國內に於ける需要は供給に伴はざりしに依り材料節約の悲運に苦めり。

一九一三年 六六六、七六八
一九一四年 三八二、〇四四
一九一五年 三八七、三一四
一九一六年 八二〇、六五七
一九一七年 八二七、九四〇
一九一八年 六八九、七五六
而して前表中一九一八年の製出量を一九一四年と比較するに、後者は多量を製せしに拘らず其の種類乏しく、前者は之に反する現象を示せり、次に兩者を對照すべし。

品目	一九一四年	一九一八年	品目	一九一四年	一九一八年
商用鐵	佛國 二、七九〇	佛國 四、〇五〇	鋼(トリフイラド)	佛國 三、六五三	佛國 四、〇五〇
鐵素鐵	佛國 一〇〇	佛國 四三、五八四	マルチン、シ	佛國 一〇、二六六	佛國 二、五五六
鐵素滿俺	佛國 二〇	佛國 六、九四五	丸棒鐵	佛國 一〇、二六六	佛國 二、五五六
鐵	佛國 三六、〇四四	佛國 一〇、二六六	鐵葉鐵	佛國 一〇、二六六	佛國 二、五五六
薄鉄(鋼及鐵)	佛國 六、九六七	佛國 三、五七五	滿俺鐵	佛國 一〇、二六六	佛國 二、五五六
攪鍊鐵	佛國 二、〇七九	佛國 三、四一七	軟鋼	佛國 三、四一七	佛國 三、四一七
鑄鋼	佛國 九八二	佛國 三、五七〇	鑄鋼片	佛國 二、三五四	佛國 二、三五四
管類	佛國 一、六〇〇	佛國 一、三三三	鋼(ビレット)	佛國 一、三三三	佛國 一、三三三

特殊鋼	一九一二年	一九一七年	一九一八年	一九一九年自一月至八月
各種の鋼材	一、三三三	一、四七九	六、四五二	三、三八一
可鍛鋼	一、三三三	一、四七九	六、四五二	三、三八一
計	一、三三三	一、四七九	六、四五二	三、三八一

他諸國の輸入量(佛噸)

品目	一九一二年	一九一七年	一九一八年	一九一九年自一月至八月
鈍鐵	五、九六一	一四、七〇九	六、四五二	三、三八一
鋼塊、短桿	五、四四一	五〇八	一三	一一三
鐵及鋼(桿)	四、九六八	一八、一七〇	一二、六六七	一、一五七
鐵及鋼(屑)	一〇、七〇一	一、九七二	四二三	一、四四二
軌條類	一二、一七一	三、三八九	二、二〇六	五、六二九
鐵及鋼(桿)	一四、八一	三、五七九	二、七五九	八、三一九
厚鐵	二、六一六	一、二四一	八七六	一六、四一六
薄葉鐵	八、八一	二〇四	三四七	三五九
管類	四、六八五	三、六二〇	六、五六三	一、七六七
車輪	一、一七二	四五九	四四六	三一八
鐵條類	二、二七一	五六	一六八	一三七
鐵道用材	八、四六一	三、二九八	一、八七八	五、〇三〇
鍛造管	三、一七	八一六	五九八	六一三
構造材料	一、〇二三	一八九	一八五	七四五
加工の鍛造片	一、二七九	九八三	一、五五一	三四三

北米合衆國の輸入量(佛噸)

品目	一九一二年	一九一七年	一九一八年	一九一九年自一月至八月
鐵及鋼(屑)	五二四	九、四一二	六五九	七八四
鐵條類	六四一	二、一五二	九二八	九二八
鐵及鋼(桿)	一二五	二、〇八二	三〇九	三〇九
厚鐵	一、二五	五五五	二、七一九	二、七一九
薄葉鐵	一、二五	五五五	二、七一九	二、七一九
車輪	一、二五	五五五	二、七一九	二、七一九
發條類	一、二五	五五五	二、七一九	二、七一九
(線を含まず)	一、二五	五五五	二、七一九	二、七一九

鐵道敷設材	一	三七	五四
鍛造管	一二八	二、一八〇	二、八三二
加工の鍛造及鑄造片	一	一五五	一
鑄造線	九六二	二六九	一
構造材料	六九一	一〇一	五〇二

◎世界に於けるタングステン鑛の産額(噸)

國名	一九三三年	一九三四年	一九三五年	一九三六年	一九三七年
英聯合帝國	一八五	三〇三	三六六	四〇〇	二四三
緬甸	一、七〇五	二、三三四	二、六八八	三、七六〇	四、五五三
マラーガ	三三四	四三六	四三七	八三九	一、二〇〇
ニウ、サウス、ウ	一七三	三〇〇	八四	二六八	二四九
エールス	一七三	三〇〇	八四	二六八	二四九
クキンスランド	五九	四三	六六	五五	五三
タスマニア	六	四	九	一〇	二四
ニウ、ジラランド	三三	三八	九六	二七〇	二四
獨逸及埃國	一五〇	三〇〇	二五〇	三〇〇	二五〇
佛蘭西	三三	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三三
西班牙	一五〇	八四	五二	六五	八〇
葡萄牙	八〇	九七	九三	一四八	一五九
日本	二九七	一九五	四三	一五〇	一五〇
支那	一	一	一	一	一
暹羅	二八	三〇	二九	四六	六四
北米合衆國	一、三三	八八	二、一六	四、七九	五、〇〇〇
亞爾然丁	五九	三三	一七	七〇	一、〇〇〇
ボリヴィア	五九	二七	七三	九二	一、六五
秘露	三〇	一六	三二	四〇〇	一、〇〇〇

備考 ×は推定額を示す、クキンスランドに産するタングステン鑛に次の如き着鉛とウオルフラムとの混合物を含めり。

一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年
一八五	一九六	二五一	一三九	一三三

統計

◎一九二〇年自一月至五月英國鐵及鋼半製品輸出量(噸)

品目	一九一九年	一九二〇年
銑	一二六、六七八	三〇七、二七七
鐵(桿、角材、其他)	一四、〇一五	二二、四七七
鋼(桿、其他)	九九、五九五	一三七、一〇四
帶狀鋼	二〇、四一八	二〇、〇二七
厚(厚さ八分の一吋以上)	一一六、五九二	七七、七〇〇
厚板及素薄板	六三、六九五	六七、七八四
素厚板	三、一八五	一七、八五三
亞鉛引薄板	三七、二九四	一七七、八一三
鍍錫厚板及薄板	九四、一九六	一四八、一三〇
管(類鑄造)	二四、五三五	三六、三四七
管(類鍛造)	三八、四三八	四六、七八六
鐵道材料	六七、七七八	一一〇、八二九
線製品	六、八四三	二三、二九四
線製品	一一、七六三	二一、九八四

◎一九一九年に於ける佛國製鋼量(佛噸)

最近發表せし佛國冶金協會委員の報告書に據るに、一九一九年に於ける佛國の製鋼量は二百十八萬六千二百六十佛噸にして、其の内二百十二萬六千七百三十五噸は鑄鋼塊とし、殘餘の五萬九千五百二十五噸は鑄造品に屬す。然るに戰前の平均製鋼量は四百六十八萬六千八百六十六噸なりしを以て、一九一九年の全製鋼量は恰も其の四六・六％に相當するのみ、斯く製鋼業不振なりしは燃料の缺乏並に運輸機關に罷工ありしに原因すといふ。今全產額を種類別すれば次の如し。

鐵と鋼 第六年 第九號

八五四

品目	鑄塊鋼	鑄造品
鹽基性ベセマー製	一、〇一二、五四二	三、七四〇
酸性ベセマー製	二九、六七八	一九、〇〇四
平爐製	一、〇三八、八二五	三一、三四一
坩堝製	一五、九三一	一、〇〇六
電氣製	三四、七五九	七、八〇〇
計	二、一二六、七三五	五九、五二五

前記の全製出量中アルサス、ローレンス地方製出のものは八十五萬八千五百二十六噸即ち四〇・二%を占むべしと認めらる、而して戦前に遡り鋼製出量を比較すれば左の如し。

一九一三年	四、六八六、八六六	一九一七年	二、二三一、六五一
一九一四年	四、六五五、八五四	一九一八年	一、八〇七、九三一
一九一五年	一、〇八七、七〇〇	一九一九年	二、一八六、二六〇
一九一六年	一、九五一、八九二		

一九一九年に於てブルームス、ビレット及薄板類の如き半製品の產出量は百四十七萬五千六百四十七噸にして、其の内百二十八萬六千二百五十七噸は製鋼場の使用に供し、僅に残額の十八萬九千三百九十噸を他の購求者に引渡したるのみ、此の全量中亦アルサス、ローレンス地方製出のものは七十八萬三千三百九十噸即ち其の五三%を占むべしと

◎一九一二年—一九一九年佛國鐵鋼輸出入額

輸 入 (佛噸)

品目	一九一二年	一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年	一九一八年	一九一九年
鐵	五、六九四〇	三、三六〇	一五、五六三	一六、六九七	六、二〇三	六、五七〇三	三、七五九四	九、二七六
鐵合金	一、一五九	一、七六三	六、〇三八	八、九三	九、〇六	二、八六八	一、七三六	一、九三

認めらる。左に完製品の產出量を示すべし。

品目	品目
軌條	一三一、七八七
スリッパス及接軌	一五、五〇九
帶狀鋼	二、三、一〇二
發條	一〇、一五一
梁材其の他形鋼	二〇四、八〇九
實用鋼材類	五三八、三八六
薄板	二一五、九七一
雜品	五、三四九
計	一、三八七、一七七

前記完製品產出量中アルサス、ローレンス地方製出のものは四十三萬四千四百五十七噸にして實に全量の三〇%を占むるなり。

一九一九年中銑の製出量は二百四十一萬二千四百四十九噸にして、其の内五萬五千四百二十二噸は電氣爐にて製せりといふ。過去七年間の銑製出量を示せば次の如し。

一九一三年	五、二〇七、三〇七	一九一七年	一、七三四、九六七
一九一四年	二、六九〇、五四六	一九一八年	一、三〇六、四九四
一九一五年	五八五、七七六	一九一九年	二、四一二、一四九
一九一六年	一、四八八、六九一		

輸出品目 (佛噸)

品目

一九一二年

一九一三年

一九一四年

一九一五年

一九一六年

一九一七年

一九一八年

一九一九年

鑄鋼塊	一九一二年	一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年	一九一八年	一九一九年
ブルーム、ピレット、バー類	三、七六六	一、九三三	一、六八八	五、七〇二	一、五〇〇	一、五九六	九、七五五	五、一八三
工具用精製鋼	二、一三三	二、一六三	一、四六五	一、七五三	四、七〇六	九、〇〇〇	三、八九三	四、八六五
特殊鋼	一、九六六	一、九四八	一、一六三	一、〇四四	二、五五八	一、八三四	四、七五	一、四三二
機械用鐵及鋼	四、八三五	六、九〇三	五、一六〇	六、五〇二	八、〇、四四	五、四〇九	五、二四八	三、一三三
薄板及帶鐵	三、五九八	三、五五四	一、四三〇	八、八、三六八	二、九〇、四八四	二、九、一二七	二、五、三四三	二、五、六〇七
鐵葉	二、七七一	一、九四六	七、三三〇	六、八、三四〇	七、八、〇七〇	四、五、三三九	八、八、八九六	四、〇七三
線條	五、一八三	六、〇八八	七、三三〇	四、六、三六七	七、八、〇七〇	八、八、八九六	三、三、二八八	二、八、九五九
軌條	二、〇五三	一、七九二	五、四四一	四、五、六五九	一、三、八、五七七	一、二、一、五五五	一、五、六、八六一	二、五、七、四七七
車輪及部類	二、五三六	一、〇二三	一、四三二	五、四九二	一、三、八、五七七	二、九、一二七	二、〇、三、一一一	一、八、三八五
發條	六、九三六	四、七七一	一、七二四	一、〇、四四	七、三三	七、三三	一、〇、六	一、六、五六一
管造材料	三、九三三	三、六	一、三〇	三、六	一、三〇	二、八、一〇	三、八、三	四、五、七三
鑄鐵塊	七、一三三	八、四六六	四、八九五	二、一、三三〇	四、五、七七一	五、四、〇八八	四、三、四七四	五、一、六九九
鐵合金	六、二九五	九、三三三	二、三三三	七、三三三	二、五、七七一	八、〇、八二	四、五、一六八	三、五、六五三
鑄鋼塊	二、六九五	九、三三三	二、三三三	七、三三三	二、五、七七一	八、〇、八二	四、五、一六八	三、五、六五三
ブルーム、ピレット及バー類	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三
工具用精製鋼	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四
特殊鋼	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
機械用鐵及鋼	四、三三	一、八二五	一、七七七	二、三〇八	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三
薄板及帶鐵	二、一五九	二、一四四	七、二四六	二、三〇八	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三
鐵葉	二、一〇四	二、一三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
線條	五、二四四	五、二四四	五、二四四	五、二四四	五、二四四	五、二四四	五、二四四	五、二四四
軌條	四、七、三三三	七、五、六八八	五、五、五七七	二、二、九九	二、二、九九	二、二、九九	二、二、九九	二、二、九九
車輪及部類	一、七、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三
發條	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三	一、三、三三三
管造材料	三、三、三三三	三、三、三三三	三、三、三三三	三、三、三三三	三、三、三三三	三、三、三三三	三、三、三三三	三、三、三三三

統計

八五五

◎一九一九年印度石炭產出額(英噸)

一九一九年中に於ける印度各州の石炭產出額左の如し。

州名	產出額	州名	產出額
アッサム	二九一、一三四	中央州	四九七、〇二一
ベルチスタン	二九、一二四	西北國境州	二〇
ベンゴール	五、七七七、六三二	パンジアップ	四六、八九三
ビハール	一五、一一七、九〇三	合計	二一、七五九、七二七
オリッサ			

◎漢口重要輸入品最近三年比較表

品目	大正六年	大正七年	大正八年
銅(塊及錠)擔	一〇、一三一	二八、九三七	六五、一八三
鐵(條)	二八、六九三	三一、二七二	八六、五三〇
粒狀鐵及斷線	一一、八〇五	一四、七六九	一九、三九六
鐵類	三二、九一九	二六、九九五	三八、八五一
釘鐵類	四一、一八四	二三、七三六	五五、〇一二
板鐵斷片	七、二九三	六五三	八、一五九
軌條	—	一二、二八七	六八、四二五
薄板及厚板	五、二九九	五、五三九	三九、九二〇
鐵線	三、九九二	二、二八三	四、一六二
鐵及軟鋼(古)	一四、六六三	九、二三一	一一、九五六
電氣被覆鐵	三、二四五	七、六〇七	一三、八八七
鉛(錠及條)	三、五三二	四、九一六	一三、六八七
銅(桿)	三、八〇三	七、二九	一二、八三七
銅製品	二、四一九	七、三七八	一八、二八〇
錫塊	一一三	一八九	三一六
錫板	二九、六三六	二二、六三三	三九、四八八
白銅及獨逸銀	一八	四〇	二一
亞鉛	八三七	二、九六三	六、八三二

◎一九一九年米國鋼銑及半製品輸出量(噸)

月別	各種鐵及鋼	銑	半製品
一月	三六〇、四五六	三五、七九三	一一、五九四
二月	二三四、七九三	二〇、一七八	一〇、四〇七
三月	三四四、五〇六	二二、〇五四	八、一七六
四月	四〇八、二〇四	一六、三〇〇	一一、四八八
五月	四四七、〇五〇	三二、二三三	二〇、七七一
六月	五四四、五八〇	三九、五四〇	四六、〇一六
七月	二八七、八二三	三八、三七三	二一、三一八
八月	三九六、七四三	三六、〇七一	三六、一六二
九月	三六三、五〇五	一八、九九一	三七、五三三
十月	三〇二、四五六	一四、一〇八	二〇、七二三
十一月	二九五、〇四五	二一、四二九	一三、二一一
十二月	二五四、六七六	一四、六一二	二一、五三八
計	四、二三九、八三七	三〇九、六八二	二五八、九〇七

◎日英米鐵鋼價格並產額比較表

一、我國に於ける本年六月以降鐵鋼價格

(各一噸に付、各月平均價格、以下同じ)

釜石炭 山形材(三寸封度以上) 重軌條(四寸五寸封度以上) 鋼板 丸鐵 角鐵

三號銑 分厚三寸(製鐵所報) (二三分) (二三分) (二三分)

月	釜石炭	山形材(三寸封度以上)	重軌條(四寸五寸封度以上)	鋼板	丸鐵	角鐵
六月	一三〇	二五〇〇	—	二五、一〇〇	三三、八〇〇	二五、四〇〇
七月	一二〇	二〇、〇〇〇	—	二五、二〇〇	三三、〇〇〇	二五、二〇〇
八月	一二〇	二〇、一六〇	—	二五、二〇〇	三三、〇〇〇	二五、二〇〇

二、英國に於ける本年四月以降鐵鋼價格

月	クリップラン 三號銑	山形材	重軌條(六十寸封度以上)	並鋼板	鐵棒	粗鋼片
四月	一〇〇〇	三、七〇〇	二、一七〇	二、一七〇	二、一七〇	二、一七〇

五月	1016	2315	2300	2310	2310	2315
六月	1017	2300	2300	2310	2300	2310
七月	1018	2300	2300	2310	2300	2310

三、米國に於ける本年五月以降鐵鋼價格

五月	ヒラデ ルヒア 二號鉄 及夫以上	山形材(三 分厚三時 (工場渡)	重軌條 並鋼板	ヒラデ ルヒア 鐵棒 平爐鋼片	ビツツ バビツツ ク
六月	47.08	27.60	55.00	81.10	95.30
七月	47.15	27.60	55.00	81.10	95.30

四、我國に於ける鐵鋼產額

大正八年

鐵鐵	七七九、九八四	(内地及朝鮮兼二浦滿洲本溪湖鞍山站を含む)
合金鐵	一七、〇九一	
鋼	八三〇、八二三	(内地及朝鮮兼二浦を含む)
鋼材	五五七、一八五	(同前)

五、英國に於ける鐵鋼產額(單位千噸)

一九二〇年

一月	六六五	鐵鐵	七五四	鋼塊
二月	六四五		七九八	
三月	六九九		八四五	
四月	六七一		七九三	
五月	七三八		八四八	
六月	七二六		八四五	
合計	四、一四四		四、八八三	
月平均	六九〇		八一四	

統計

六、米國に於ける鐵鋼產額(單位千噸)

一九二〇年

一月	3,015	鐵鐵	2,968	鋼
二月	2,979		2,865	
三月	3,376		3,299	
四月	2,740		2,638	
五月	2,986		2,883	
六月	3,044		2,980	
合計	18,140		17,634	
月平均	3,023		2,939	

◎世界銅產額

左の表は米國地學協會の統計に據つたもので、世界の主要なる銅產國の生産額である、獨逸は戰時中產額不明なり。

(單位封度)

國名	一九〇六年	一九一三年	一九一六年
合衆國	1,278,000	1,344,000	1,927,000
墨西哥	1,360,000	1,643,000	2,163,000
日本	957,000	1,617,000	1,718,000
西班牙及葡萄牙	1,076,000	1,076,000	1,076,000
澳洲	81,000	104,000	77,000
加奈陀	560,000	769,000	1,197,000
智利	566,000	888,000	1,547,000
ペル	1,051,000	566,000	917,000
獨逸	456,000	566,000	不明

◎輸出入貨物品別表(大藏省發行の大正九年六月外國貿易月表中鐵及鋼に關するもの左の如し)

第一 輸出貨物品別表

内國產品	大正九年六月		大正九年一月以降累計額		大正八年一月以降累計額	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
石炭(噸)	一六九三九九	三八五七、二七六	一、二九八〇六	二四、二四、七〇三	八八三、三七	一六、〇三七、一七三
コークス(噸)	二	六〇	四六七	一七、二六	八六一	四五、三三三
鐵塊及錠(斤)	三三三、九四二	三八、九二	五、四四、七八五	六〇七、五三五	一〇、九五四、六三三	一、三八、三三四
鐵條及板(斤)	五、七五、三六一	一、〇九九、三三三	一八、四八二、一五〇	三、九〇八、一二九	二三、四三三、五〇一	四、八二四、四八三
線索(斤)	一七三、〇四一	八一、四四八	九八四、二六三	四六一、〇九八	一、一五八、九四三	七六一、九五九
筒及管(斤)	八〇一、八一三	一六三、六八一	四、四〇四、七九一	一、〇七〇、〇〇五	五、〇〇七、四六三	一、二九八、七八〇
鐵鍋及鐵釜	—	六二、五二〇	—	三四〇、八七七	—	二二五、六九八
鐵製品	五五、八八〇	二、六三、三三三	二八八、三八三	一二、六六六、五八九	二、〇七三、〇一三	一一、九五八、三七五
人力車(輛)	一三七	一七、七九七	一、六九六	二〇〇、八八七	一、二二五	八一、三九三
船舶(汽船)	—	—	一三	七、六七三、三六八	三	六、七五〇
機械同部分品及附屬品	—	二、一四一、七四〇	—	八、五四四、七六八	—	七、三三六、〇〇三

第二 輸入貨物品別表

外國產品	大正九年六月		大正九年一月以降累計額		大正八年一月以降累計額	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
石炭(噸)	五八、〇八三	一、六三三、六三三	四二七、五二一	一一、六〇三、四六五	三五〇、九七〇	九、六二一、八一九

外國產品	大正九年六月		大正九年一月以降累計額		大正八年一月以降累計額	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵道建設用材料(レール其他)	一六、三四五、九〇六	一、七六〇、一一一	一〇七、二四一、〇四五	一〇、六七七、三四三	五〇、三三六、二一九	七、五六四、八〇七
電線支柱及同支架用材料	二、三三六	二、四三二	四六、七七九	一七、六五七	三、八〇五	四、一二六
家屋橋梁船舶等建設材料	二二〇、八五三	六〇、〇八〇	一、六九七、八一六	四〇三、七二五	七八二、二四五	二二三、九一九
鐵 錨	七、〇一六	一、五八四	二〇七、六八八	六四、〇八九	一九〇、八三一	四八、六四六
鐵 鏈		五四、七九八		五二三、六六六		六〇九、四〇八
鐵道車輛及同部分品		三八七、九三三		二、〇五三、五五九		二、五六九、六〇九
自動車及同部分品	一三七	九四六、七五〇	一、〇五四	五、九一五、六八〇	八〇六	五、六〇四、一二一
自 轉 車	一、〇三六	一三四、七六〇	六、〇三八	七二五、四二三	六七五	二六〇、四九七
汽 船 (船齡十年以下)(隻)					五	八九、〇〇〇
同 (其 他)(隻)					六	三五一、〇七五
汽罐同部分品及附屬品		七九五、八四五		三、〇三九、八五〇		四、四〇三、五一四
フューエルエコノマイザー(斤)	七四、〇六四	一九、八九一	三七〇、二九八	九九、〇五五	一一三、五五八	二三、八一八
蒸 氣 機 關	三、六五八	一七、九四八	四六三、八六二	三〇四、八〇〇	九二五、八八三	三六三、四六一
瓦斯、石油、熱氣機關	五八、七〇三	一〇九、三二一	四六七、四〇九	一一、三五、七〇八	一八四、五五三	六六一、五七一
發電機電動機類	二八二、七三八	三三〇、二九七	一、八二三、二五二	二、一一六、九四五	二、一六七、九一〇	二、五九六、六六八
ク レ ン	六三、七七一	五九、八七〇	六〇〇、七三二	四七三、六一〇	四四一、七八一	三二一、三三二
縫 衣 機	二六六、五九七	三六、一三六	二、九八三、〇八四	三、四二二、三三四	一、三〇九、四五〇	一、五七九、五七三
金屬工及木工機械	一、四五三、九九五	一、四二四、九六六	六、九九九、五八三	六、九二五、五四七	五、三〇三、九七九	五、六七八、七四一
紡 績 機	二、五八七、八九八	一、三八八、八四四	一〇、〇七四、六〇八	五、六七二、五七一	一〇、五一二、二七三	五、九〇三、〇九三

◎本邦鐵及重要金屬並石炭產額表

(大正九年六月中農商務省鑛山局調査)

重要金屬並石炭石油產出狀況

名	稱	六	月	分	一月以降累計
金	(匁)	一五四、九八四			九九九、七七五
銀	(匁)	三、一九七、一〇七			一九、六〇〇、八八五
銅	(斤)	八、九四七、〇三二			五四、一五六、〇二二
鐵	(佛蘭)	四、八六八			三四、五三七
石炭	(佛蘭)	二、二二二、四〇三			一三、三八八、七八三
石油	(石)	一四七、七五二			九三〇、七五三
硫黃	(佛蘭)	三、七三二			四、三〇九
鐵の產出狀況					
鑛山名	所在地	六	月	分	一月以降累計
釜石	巖手	銑	三、四六三		二五、五五八
仙	人	銑	一、〇二〇		六、一七三
仙	人	銑	三八五		二、三九八
銅の產出狀況					
鑛山名	所在地	六	月	分	一月以降累計
足尾	栃木	銑	一、六六六、七七六		一一、三九二、八六五
別子	愛媛	銑	一、四四九、三七三		六、一四〇、六九三
日立	茨城	銑	一、四二三、二〇三		八、四二八、七九八
小坂	秋田	銑	一、一三一、四一一		七、一一二、九三六
佐賀關	大分	銑	九二二、二八〇		五、四六八、三八九
生野	兵庫	銑	三一六、六三三		二、一七八、一五五
尾去澤	秋田	銑	三五〇、九〇五		二、三五〇、四五五
統計					

石炭の產出狀況

尾小屋	石川	三一六、二四七	一、六〇四、九二〇
吉岡	岡山	三八一、二八八	二、四五二、三一五
安部城	青森	二一一、三四四	一、五一二、六八五
石炭の産出狀況			
鑛山名	所在地	六月分	一月以降累計
三池	福岡	一六三、二一二	九六一、三四九
夕張	北海道	一一六、七四五	五九二、八四五
大之浦	福岡	六八、九九八	五〇〇、三一八
三井田川	同	九一、〇一四	五〇九、九二七
峰地	同	三八、八七三	二八六、四〇二
二瀬	同	六二、四七四	三六一、七九二
好間	福島	三五、九六二	二五七、七七五
杵島	佐賀	四六、四二四	二六五、五七一
三菱美唄	北海道	四八、五六二	二九一、二四三
飯塚	福岡	四八、五四五	二六一、八四九
新夕張	北海道	三七、三一六	一九二、七七三
芳谷	佐賀	三一、五七〇	二〇三、二九三
明治	福岡	四二、九二三	二三六、九五五
目尾	同	三二、八六一	二二八、二五四
餘田	同	四四、一六六	二五五、九九四
大峰	同	四四、六四八	二五四、五八八
内郷	福島	三八、三三四	二一九、八六六
相知	佐賀	三五、八〇七	二〇二、六三八
豐國	福岡	四二、一三九	二二七、一三四
三井山野	同	三七、四二〇	二二六、四二九
新入	同	三七、七五九	二〇〇、七四二

八六一

沖ノ山	福岡	三〇、〇八五	二一七、四六一	第二沖ノ山	山口	九、二四一	七九、六七八
入山	同	二三、八二二	一七一、一三六	重内	茨城	一五、八五七	一〇七、七二一
空知	北海道	三八、七九六	一八七、〇九六	高雄二坑	福岡	八、九〇〇	六四、五二三
大辻	福岡	二四、五一〇	一七四、四六四	三井砂川	北海道	一二、七〇六	七五、四九二
松島	長崎	三三、二三三	一九八、一〇六	登川	同	一二、七五〇	一〇八、四九九
平山	福岡	三一、二〇八	一七四、九八九	豆田	福岡	一二、五四八	七八、三八一
東見初	山口	二九、〇一一	一六〇、六〇六	千代田	茨城	一四、六一四	七五、九〇五
新原海軍	福岡	三二、七九〇	二〇三、六五七	大谷	福岡	一〇、三六〇	六〇、四四三
崎戸	長崎	三四、一〇七	一九一、八〇八	下山田	同	一四、七一五	七一、七五九
新 hands	福岡	二六、一三八	一六三、四三二	大峰分坑	同	八、九二三	五七、二七七
忠隈	同	二七、八七〇	一六四、九八六	大屋瀬	同	一五、〇七二	八七、九二五
高島	長崎	二六、一七六	一四八、四五二	幾春別	北海道	一四、五〇〇	七五、〇〇〇
岩屋	佐賀	二三、九〇〇	一三四、二五三	綱分	福岡	九、九七五	六六、五六五
福岡島	福岡	一二、〇九四	九九、八〇一	大日本	茨城	一一、七〇七	七六、一五七
芳雄	同	一八、九〇八	一三二、五〇五	大隈	福岡	四、四八七	三九、〇二四
奔別	北海道	二〇、三〇〇	一〇六、五六六	久原	同	七、六一二	四一、三四三
方城	福岡	二三、三四八	一三二、七六三	三井本洞	同	一一、九九二	六四、〇二四
姪濱	同	一七、〇七二	一〇二、〇二四	宮尾	同	一一、四六一	六七、三〇二
幌内	北海道	二一、七〇〇	九六、五〇〇	岩崎	同	七、七九九	四九、九六八
小野田	福岡	一一、五二三	八六、六八一	西沖ノ山	山口	一二、七〇六	九七、五五六
眞谷地	北海道	一六、五〇〇	七六、〇〇〇	勿來	福岡	四、九八五	四八、五〇三
茨城無煙	茨城	二一、三一五	一三八、九九九	起行小松	福岡	一四、八五一	八二、四六八
高江	福岡	九、七八八	八七、〇四二	吉隈	同	七、一四一	五〇、一四一
上山田	同	一七、六一〇	一〇四、六九四	新目尾	同	五、八八五	五四、二五一
金山	同	一五、七五八	九二、九二三	歌志内	北海道	三、九一二	三二、二七三
福岡二坑	同	一五、〇三七	八四、四三四	平浦	福岡	四、七二〇	三八、二二〇
				神ノ浦	福岡	七、四九〇	五七、三九〇